

防 除 情 報

長崎県病害虫防除所長

平成29年度病害虫発生予察防除情報第19号

麦類赤かび病の防除対策について

気象予報(福岡管区气象台、平成30年3月22日発表)によると、向こう1か月の気温は平年より高く、降水量は少ないと予想されていますが、出穂期以降の気象次第では本病の発生が多くなることが考えられます。防除適期を逸さないように以下の点に留意して対策の徹底をお願いします。

記

1. 防除対策

- (1) 本病は、出穂期以降に気温が高く曇雨天が続くと多発するので、出穂期以降の気象推移に注意する。
- (2) 発病を認めてからの薬剤防除では効果が劣るので適期防除に努める。また、曇雨天が続く場合は、必要に応じて追加防除を行う。
- (3) 小麦、はだか麦では、開花最盛期(出穂期の概ね7日後)とその7～10日後に薬剤散布する。
- (4) 二条大麦では、穂揃期の10日後(蒴殻抽出始め 図参照)に薬剤散布する。
- (5) 麦の生育ステージは品種や圃場により異なる(参考)ので、圃場の見回りに努め、生育ステージを把握した上で防除を実施する。



図 二条大麦の蒴殻抽出始め
(九州沖縄農業研究センター原図)

参考 各品種の出穂期(長崎県農林技術開発センター、諫早市)

麦種	品種名	本年値(予測日)		平年値	
		播種期	出穂期	播種期	出穂期
二条大麦	はるか二条	11/22	(4/1)	11/15	3/22
はだか麦	御島稈	11/22	(4/14)	11/15	4/7
小麦	チクゴイズミ	11/28	(4/15)	11/22	4/5

注1) 平年値は過去5カ年の平均値(はるか二条は過去4カ年の平均値)

本年値の出穂期は3月15日の予測値

注2) 出穂期: 全茎の40～50%が出穂した日

穂揃期: 全茎の80～90%が出穂した日

2. 防除上注意すべき事項

薬剤の種類によっては、麦種ごとに農薬使用基準が異なる場合があるので、使用にあたっては特に収穫前日数に注意する。

○長崎県病害虫防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県病害虫防除所ホームページ」 アドレス: <http://www.jpnn.ne.jp/nagasaki/>

○この情報に関するお問い合わせ 長崎県病害虫防除所 TEL: 0957-26-0027

